

# 京〈はじめて〉物語

土田麦僊《髪》(部分) 明治44年(1911)



第1期

カイセン  
始動ス!  
2024 4/6  
6/2

—京都市立絵画専門学校に集いし若き才能—

[土]

[日]

汪蔚《溪山明微図》(部分)  
中国清時代 乾隆51年(1786)



開館時間 9時〜17時  
月曜日及び展示期間外は休館(月曜日が祝日の場合は翌日休館)

主催・京都市立芸術大学 共催・京都新聞

入館無料

—京都御苑からの出発—

第2期「日本最初京都画学校」

2024 6/15 [土]

8/12 [月・休]

# 京都芸大〈はじめて〉物語

日本で最も長い歴史を持つ芸術大学である京都市立芸術大学の京都駅東地区移転を記念して、特別展「京都芸大〈はじめて〉物語」を開催します。

明治13年(1880)の創立以来、150年近い歴史の中で、多くの教員や卒業生が芸術の分野で活躍してきました。この間にはさまざまな教育研究の試みや、特徴的な卒業生の輩出がありました。そして生み出されてきた数々の〈はじめて〉を、芸術資料館収蔵品を中心とするさまざまな作品、資料により展覧し、本学の進取の精神を紹介します。

〈はじめて〉に関する多彩なテーマからなる本展は、会期を4期に分け2024年春から1年間にわたって開催します。第1期と第2期は明治・大正の動き、第3期・第4期では戦後まで含み、全体を通して本学の歴史と芸術資料館の主要なコレクションを一覧できる貴重な機会となるでしょう。



岡本神草《口紅》大正7年(1918)



村上華岳《二月の頃》明治44年(1911)



小野竹齋《南国》明治44年(1911)



入江波光《北野の裏の梅》明治44年(1911)

## 第1期 カイセン始動ス！

—京都市立絵画専門学校に集いし若き才能—

明治13年に開校した京都府画学校は、その後改革を繰り返し、京都市立美術工芸学校(美工)として、美術工芸の中等教育を担うこととなります。明治36年に高度な専門教育を目指した専門学校令が発令され、また文部省による本格的な美術展である文展が明治40年より始まります。そのため美工の上級学校として京都市立絵画専門学校(絵専)が設置されました。美工からの進学者だけでなく既に実績のある若手画家も入学し、その卒業生は大正時代の日本画壇でめざましい活躍を見せることになります。

ここでは彼らの卒業作品を展覧することで、革新のエネルギーに満ちた時代の空気を感じていただきたいと思います。

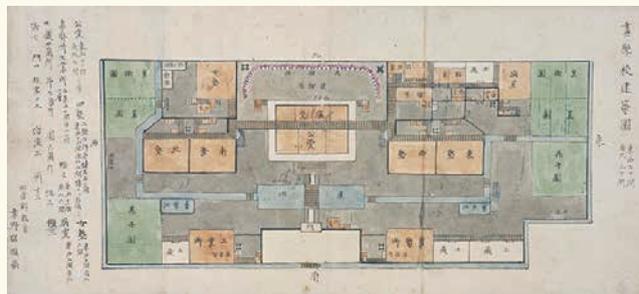
## 第2期 「日本最初 京都画学校」

—京都御苑からの出発—

明治の始まりとともに全国に先駆けて各種の学校を開いてきた京都。美術の学校は明治11年、南画家田能村直入が京都府知事あてに画学校設立を建言したところから動き出し、同13年7月1日、日本初の公立美術学校として設立、三条実美が「日本最初京都画学校」と命名しました。最初の校舎は京都御苑内にありました。国の組織では西洋式の美術を伝える工部美術学校が既にありましたが、京都府画学校は西洋画、写生画、南画、やまと絵等を幅広く学ぶ絵画の学校としてスタートしました。



<アクセス> 京都市立芸術大学芸術資料館 展示室 本学C棟1階  
○地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分(A棟まで)  
○京阪電車「七条」駅下車 徒歩6分(I棟まで)  
○バス 4.16.17.81.205.南5号系統「堀小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ



田能村直入・幸野樸嶺・望月玉泉ほか《画学校起校上書・開学建議書・建築案図》(部分) 明治11~13年(1878~80)



望月玉泉《蜥蜴図》明治時代(1880~89)



作者不詳《田能村直入肖像写真》明治14年(1881)

幸野樸嶺  
《龍馬負河内図》  
明治13年(1880)



### 【関連事業】

ギャラリートーク 無料・事前申込不要  
第1期:4月23日(火) 第2期:6月25日(火)  
各12:15~12:45  
シンポジウム  
5月19日(日)13:30~16:00

### 【関連企画】

アートスペースk.kaneshiro 第2回展覧会  
「美工・絵専時代の上村松篁  
—若き日の異色作をめぐって」展  
2024年4月6日(土)~6月2日(日)  
京都市立芸術大学 C棟6階 アートスペースk.kaneshiro

《仮睡》  
(大正10年・金城コレクション蔵)  
を初公開!  
《春立つ頃》  
(大正10年・芸術資料館蔵)  
もあわせて出品